



# 森のなかま

2016年7月号

NO.99 (継続244号)

事務所が移転しています!!

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明  
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax046-297-0302

平成28年度かながわ森林インストラクターの会通常総会開催  
日時:6月19日(日) 13:30~16:30 場所:ユニコムプラザさがみはら

## この1年を振り返り、次の1年に向けて

< 理事長 久保 重明 8期 >

月日の経過するのは早いもので現在の執行部体制になってから約1年、改めて周囲を見回すと会の組織や財務改革、技術レベルを守る研修、他団体との関係構築など、まだまだ内外共にやるべきことがたくさんあります。

まずは森林インストラクターの派遣で企業や団体そして学校など外部との接触の多いネットワーク活動業務の組織の改革を進めてまいりました。この部署の統括する一部の人に重荷が掛かるのを軽減し、また多くの会員が活動に参加して貰えるようにし、さらに県の森林再生パートナーが増えても対応できるような体制を考え、一歩踏出しました。



当日の久保理事長



総会風景

また森林部会が独自でやってきた高標高の森林での間伐・枝打ち作業や荒れた里山整備を会員活動の一環としてスキルを磨けるような体制にしました。ここではボランティア活動では使うことのないチェーンソーや刈払機を使い、幅広く森林の整備の技術を磨けるようになりました。会が丹沢大山自然再生委員会に加盟してから4年、現在、県民部会に所属しております。本年度、会に普及啓発関係の予算が割り当てられ、委員会と共催で大山での森林探訪を行うことになりました。森林探訪を通し、これ

からは丹沢大山で県が行っている施策を多くの県民にお知らせる役割を担うこととなります。

会の組織といえば3つの委員会(技術委員会、安全管理委員会そして事業企画委員会)があります。その中の技術委員会・安全管理委員会は活発に研修会を開くと共に、両委員会が協力して活動現場の状況視察を行い、その結果を持って技術のレベルアップや作業現場の安全などにつなげようとしております。事業企画委員会は昨年度、現状と近未来を認識するのによい資料、中期経営計画を作りました。この資料ではこのまま進むと縮小しか道がないと明確に示してくれました。今年度には現在の執行部と事業企画委員会(有志はだれでも参加可)が合同委員会(仮称)を立ち上げ任期中に明るい方向づけしたいと考えております。

<式次第と開催の様子>

<式次第>

- 1. 開会    2. 理事長挨拶    3. 来賓ご挨拶    4. 議長選出および書記・議事録署名人委嘱
- 5. 議事    ・第1号議案(平成27年度 活動報告および決算)  
              ・第2号議案(平成28年度 活動計画および予算)    ・第3号議案(選挙規程改定について)
- 6. 議長および書記解任    7. 表彰    8. 講演(第2部)「やどりきで会った動物」 9. 閉会



司会  
森本副理事長



(公財)  
かながわトラストみどり財団  
みどり森林課 課長 豊丸 様



県環境農政局緑政部水源環境保全課  
主事 星 様                      副課長 矢崎 様



柏倉議長



議事案説明等  
福島事務局長



議事終了後に平成28年度の「感謝状」が  
7期伊藤恭造氏に贈呈されました。  
表彰を受ける伊藤氏(左側)



講演(第2部)「やどりきで会った動物」  
講演風景と講師の滝澤氏(5期)



滝澤洋子

平成28年度 森の案内人特別企画

やどりきの森へ行こう「夏も近い!ウツギ&動物探し」が開催されました。

5月21日五月晴れのやどりき水源林で森の案内人特別企画のイベント「やどりきの森へ行こう!」が参加者20名で開催されました。  
(写真撮影&キャプション:やどりき事業部 部長 飯澤氏 9期)



1.今日の見所は・・・オリエンテーション



2.今ここから見えるのは・・・



3.熱心に説明のメモを取る参加者



4.あのウツギの種類は何でしょう?



5.観察出来たハイカウツギ



6.観察出来たニシキウツギ



7.お疲れ様でした。バスは新松田駅直行です。

**熱中症**を防ごう! 熱中症の注意が必要な時期になってきました!!



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』支援団体としても取り組んでいます。  
全国で5番目/NPO法人で初委嘱されています。

**『緑の祭典“かながわ未来の森づくり”2016 in おだわら』**  
 平成28年5月22日(日)、晴れ (5/21準備) 場所:小田原市萩窪(辻村植物公園隣接地)

< インストラクター:リーダー小野幸弘氏 7期 他 計40名 >

写真撮影: 鈴木松弘氏⑤、上田啓二氏⑩

主催: 神奈川県、小田原市、(公財)かながわトラストみどり財団  
 運営: 県民との協働による森林づくり実行委員会  
 協力: 小田原市ふるさとの森づくり運動実行委員会  
 協賛: 日本野球機構、神奈川県連合読売会(読売新聞社)、みどり会



かなりんちゃん  
しずくちゃん  
梅丸くん

【 5月第4日曜日「かながわの森へ行こう」の日に小田原市において、参加者の皆さんに植樹をして頂く「緑の祭典」が開催されました 】

今年は木材利用循環を目的として、花粉症対策品種の無花粉スギやヒノキの苗木を植樹しました。快晴日で暑く熱中症や脱水症が心配されましたが回避でき、多数(350名超え)の皆様に参加頂き、とても賑いのある集いとなりました。午前は、植樹の後に、丸太切り体験や、展示等観覧しました。午後は水源林探訪会には希望者が多く予約を打ち切り状態となりました。「かなりんちゃん」と「しずくちゃん」そして地元小田原の「梅丸くん」の“ゆるキャラ”の登場もあり、子ども達には、大好評でした。

私達かながわ森林インストラクターは前日(20名)の会場準備と植樹、探訪の場所、手順等の確認等を行い、当日(40名)の本番を迎えました。

5/22 当日 スケジュール

8:30~9:30 小田原駅⇒会場(シャトルバス)、 9:00~11:00 植樹、  
 11:30~12:00 式典、  
 12:00~13:00 昼食、昼休み、 13:00~14:00 会場⇒小田原駅(シャトルバス)  
 <水源林探訪会参加者>  
 13:00~15:30 水源林コース、いこいの森コース 終了後⇒小田原駅(バス)  
 (記事:松本⑩(広報))

**植樹場所 2カ所**  
**(A: 0.16ha, B: 0.24ha)**



**植樹(9:00~11:00)**

苗木、道具を受取りサイトへ



穴掘り、植樹の指導と実演



参加者の実践植樹



鹿保護柵 (商品名:クワンタイ) の設置方法説明と指導



完成 (植樹と保護柵)



植樹が終わり 式典会場へ



**式典(11:30~12:00)**

主催者、来賓代表とこどもたちとミス日本みどりの女神



記念植樹



小田原北條太鼓の会



**探訪会(13:00~15:30)**

水源林コース、いこいの森コースへ



綺麗な水源



製材所見学 (大木材木店)



竹の  
利用

## 森林部会主催 平成28年度 「竹林整備研修会 第1回」

5月29日(日)、9:30～15:30、曇り時々晴れ

場所:南足柄市県立21世紀の森(マダケ展示林)

参加者(研修者): 20名(講師、幹事は含まず)

講師: 森林部会 1班:佐藤武晴氏⑤ 2班:足立功氏④ 3班:富樫文衛氏⑥

幹事: スタッフ:小野幸広氏⑧ 有坂宗二氏⑧ /部会長:滝澤洋子氏⑤

●研修目的: 竹林整備をインストラクターとして指導する上での要点、安全への配慮、及び指導者としての基本的技術の会得・習熟を目的とし、また指導方法を共有化し、バラツキがないようにすることを目的とする。合わせて基本となる会のマニュアルを理解したうえで、各現場での整備方法に沿った指導ができるようにする。

●研修スケジュール: 9:30～9:40 オリエンテーション 9:40～10:00 講義 10:00～12:00 実習  
12:00～12:30 昼食(現場にて) 12:30～14:30 実習  
14:30～15:30 広場へ移動・道具清掃と返納、振り返り・意見交換・講評、解散

### <感想記 山口久基 11期>

今回の研修は、指導者としての基本的技術の習得、指導方法の共有化を目的に実践的に行なわれました。作業前に森林部会で作成中の「竹林整備作業マニュアル」に基づく説明があった後、3班に分かれて作業場所のマダケ展示林に入りました。作業場所は、久しく放置された見通しの悪いタケヤブになっており、どこから手をつけていいかわからない状態でした。班リーダーから、枯れ竹・折れ竹・曲がり竹の撤去・搬出を中心に整備を行なうようこの指導があり、30分ごとに参加者がリーダーを交代して、リーダーの指示のもと作業にあたりました。竹の置き場作り、竹の撤去・搬出、バカ棒(2m)を作った竹の玉切り、枝払い等、密度の濃い研修となりました。作業を通して、丁寧にやる枝払いの大変なこと、作業の効率を考えての人員配置の重要性を再認識しました。作業後は、見通しの利く竹林となって、インストラクターらしい整備が出来た満足感を持って研修を終えました。講師、スタッフの皆様、有難うございました。

オリエンテーション&amp;テキスト説明



まずは径路沿いから実習開始

作業が進むにつれ径路は  
少しすっきりしてきた

(写真/写真キャプション)ベースは滝澤氏⑤

作業が進むと光が入ってきた



終了後現場を前に意見交換

倒れた竹は処理できたが、  
伐るべき竹はまだ沢山ある



**自然観察部会『夏の探鳥会』**  
 5月7日(土) 9:00~14:00、晴れ 横浜市舞岡公園  
 講師インストラクター: 武本 弘次 氏 ⑦

< 笠原 かずみ 14期 >

今年第一回目の探鳥会はGWの後半5月7日に横浜の田園風景が残る舞岡公園にて行われました。講師は、7期の武本さんです。お天気に恵まれたのですが風が強く、さえずりは聞こえますが、姿を見つけることができません。自然の風景が続く山道を抜けると田んぼが現れ、やっとカラスに出会いました。

この日はカラスも暑かったらしく、田んぼで沢山のカラスが水浴びをしていました。少し離れたところにカルガモのつがいを発見！でもハシブトカラス達が煩かったのか？どこか飛んで行ってしまいました。このまま鳥には出会えないかも?!とっていたところ、やっと田んぼから少し離れた瓜久保の池で、一羽のカワセミに出会いました。探鳥会が初めての私は見つけることができなかったのですが、講師の武本さんが素早くスコープでカワセミをとらえて見せてくださいました。コバルトブルーの美しい羽から出た橙色の足とくちばしの下が同じ橙色だったのでメスということでした。池にかかる枝に掴まって獲物を一生懸命狙っている姿が可愛いく、でも取るのには苦勞しているようでした。

今回の探鳥会では出会った鳥は少なかったのですが、みずみずしい新緑の中での観察と、武本講師の環境に合わせて進化した鳥の機能の講義や実物の鳥の巣を見てどう作られているかの、お話を伺うことができ、充実した探鳥会でした。この日、見聞きできた鳥は鳥合わせの結果19種でした。

追記) 皆さんより一足早く退会した松本が舞岡駅に向かう途中でシジュウカラ、ウグイスの写真撮影に成功しました。特にウグイスは鳴き声をマネしていたら逃げず見つける事ができました。張り合ってくる鳥なのかな？

見られた鳥: カルガモ、キジバト、カワセミ、ハシブトカラス、シジュウカラ、ヒメアマツバメ、ツバメ、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、(後で松本のみウグイス)  
 声だけの鳥: コゲラ、アオゲラ、ウグイス、メジロ、キビタキ、カワラヒワ、コジュケイ、ガビチョウ

参加者 5/7 黒澤⑧, 小林⑩, 小笠原⑩, 松本⑪, 長尾⑬, 松石⑬, 水上⑬, 鳥海⑭, 笠原⑭ (写真撮影: 松本)

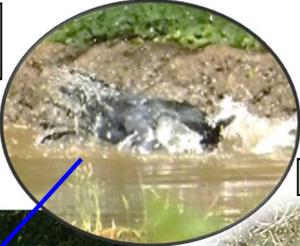
午前中は鳥の姿を見つけることができず昼食になりました



舞岡公園から見た風景 西湘方面と箱根方面遠くに矢倉岳も見えました



そこに現れたのがカラスとカルガモでした



カラスの行水



カルガモペア



少しピンボケですが撮影に成功したウグイス



シジュウカラ



## 活動短信

今回の掲載は平成28年5/7～5/29です。  
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



無料イラストより



**蛙始鳴** 5/5～5/9頃  
かわずはじめてなく  
蛙が鳴き始める  
第十九候 立夏 初候

**紅花榮** 5/26～5/30頃  
べにばなさかう  
紅花が盛んに咲く  
第二十三候 小満 次候

## ◆ クレマチスフェア(街頭キャンペーン相模原)

日 5月7・8日(土・日) 9:00～15:00、両日とも晴れ

場 相模原市立 麻溝公園

参 5/7: 78名(大人56、子ども22名)

5/8: 62名(大人32、子ども30名)

財 5/7: 佐々木様、5/8: 榎山様

イ 5/7: L森本⑤、菊地①、高橋③、永野⑥、伊藤⑦、小野⑦、澤村⑫、星野⑬、立花⑭、グッズ販売 米本②

5/8: L森本⑤、菊地①、高橋③、鈴木⑤、斎藤⑥、富樫⑥、小野⑦、後藤⑩、大塚⑪、グッズ販売 米本②

新緑が美しい相模原市で2度目の街頭キャンペーン。実施に当たっては、(公財)相模原市まち・みどり公社麻溝公園グループ様に、大変お世話になった。

今回、地元のNPOとバッテリー気味となった「どんぐりクラブ」は実施せず、体験教室としては、丸太切りと(鳴り物でもある)葉巻笛を採り上げた。

両日とも、静かな会場の雰囲気の中で自然とのふれあいを満喫。丸太切りでは、バリ取り用のサンドペーパー装着台の新規投入で、出来栄も良かったようだ。

本会から、初めてのグッズ販売に挑戦。賑やかし効果もあつてか、売上は好調。

今後とも、相模原市まち・みどり公社との協働路線をより深化させていきたい。

(記 森本 正信 ⑤)



## ◆ 鶴岡八幡宮 槐の会

林内整備と癒やし・自然観察及びクラフト製作

日 5月8日(日) 8:30～15:00、晴れ

場 県立21世紀の森 セントラル広場他

槐の会一般参加者 64名及びスタッフ7名

県 星様

イ L高橋(修)⑨、若林⑦、草野⑧、小沢⑨、宮下⑩、山下⑪、福島⑪、吉田⑪、真貝⑪、真部⑬、笠原⑭

例年、やどりき水源林で活動してきたイベントですが、槐の会様の要望もあり初めて21世紀の森を舞台とした企画を実施しました。天気も心配されましたが、当日は良い天気となり道中及び会場でも富士山が見られ、参加者には記念撮影をされる方もいました。

連休でバスの到着時間の遅れを心配していましたが、乗り換えのバスより早く到着し、逆に作業場所への搬送に手間取りましたが、何とか作業場所であるセントラル広場への集合を終え、開会式を行いました。

午前中は6班に分かれ、アオキの除伐と枯れ木、枯れ枝の林内整理に汗を流しました。作業場所は比較的平坦ではあるが、枯れ枝やつる性植物も多く、安全メガネの着用、足元の注意と傾斜場所への作業禁止を徹底し作業を進めました。

搬送に時間を費やし作業時間が少ないと思っていましたが、参加の皆様は元気が良く想定以上のエリアがきれいになったと思います。

午後からは21世紀の森施設内でのクラフト製作班と癒やし体験班に分かれ活動しました。クラフトは箸作りを行い、参加者はそれぞれヒノキ材をミニカンナで削り、焼きゴテ(電熱ペン)で名前、模様を入れた作品を完成。

癒やし体験は樹冠の揺らぎ体験と眺望の良い場所でハーブティーを賞味した後、セントラル広場より駐車場までの林道探索を行い、全員無事に駐車場まで帰ってきました。初めての場所での活動であった為、多少運営でロスがありましたが、事故も無く、参加の皆様が笑顔でバスに乗り込まれるのを見てスタッフ一同もほっとして見送りました。

(記 高橋 修 ⑨)

## ◆ 株式会社鈴廣蒲鉾

## 恵水の森間伐 新入社員研修

日 5月9日(月) 10:00~13:00、雨

場 やどりき水源林

参 新入社員 15名 (橘高様が引率)

県 星様

イ L小沢⑨、上田⑩

朝から雲行きがよくなかったが、9時から選木を行い、道具類の準備が完了した頃から雨が降り始めた。10時に鈴廣蒲鉾の新入社員の方が来られた時には、雨脚が本格的になり足場も良くない状況になったため間伐作業は危険が伴うと判断し、県、鈴廣蒲鉾様、インストラクターで打ち合わせの結果間伐作業は中止にした。

参加者は雨具の準備も十分でなかったが、「恵水の森」の間伐現場はぜひ見てみたいとの要望でしたので現場に行って「なぜ間伐は森林整備の中で必要か」、「間伐はどのようにするのか」などを現場の木と切株を見ながら、説明した。

また間伐していない森と間伐をした森の違いなどを見比べながら森林保全活動の大切さを体験した。

「恵水の森」は林道コース終点にあり、帰路は水源林の自然観察をしながら集会棟に帰った。

集会棟で、県が取り組んでいる水源環境保全についての話の後、リーダーがやどりき水源林の自然について講話をした。質疑応答では自社製品に木材を使用することなどから木について関心を持った質問が多かった。

湿気が多い現場に立ち入ったためヒル被害が3、4件発生した。

間伐を体験できなかったことは残念であったが、雨の水源の森を体験し森と水と木のかかわりを感じていただいたことと思います。

(記 上田 啓二 ⑩)

## ◆ 都立桜町高校 奉仕活動 (植樹)

日 5月10日(火)11:30~14:15、曇り

場 宮ヶ瀬ダム湖畔(鳥居原園地)

参 高校生 312名 (教師含む)

スタッフ (公財)宮ヶ瀬ダム周辺振興財団  
施設課柳川様、他5名

イ L西出⑫、有坂⑧、松本⑪、星野⑬、立花⑭

前夜の雨で天候が心配されましたが、周辺の山に霧がかかった状態のままですが、雨は心配なさそう。

11時30分に現地集合し、宮ヶ瀬ダム周辺振興財団の方と道具、苗木(H50cmドウダンツツジ)数を確認し、今日の手順を打ち合わせて高校生を待つ、予定時間通り園地に到着、各組ごとに整列し開会式(学校、財団、インストラクター、生徒、各代表の挨拶)へ、その後A~Hの8組の班長40人を4グループに分け、4人のインストラクターが植樹デモを行った。

配布場所へ移動、8組を各組1~5班に分け各班シャベル、肥料、ドウダンツツジ4本(計160本)と持参肥料を手持ち、湖畔斜面階段を下り指定場所へ到着。

植樹は予め刺しておいた竹棒を抜いてデモの手順通り穴掘り、底土入れ、苗木入れ、埋め戻し、軽く踏み固め、肥料掛け、生徒の元気な行動で全て植栽は時間内に終わる。持参の道具と不用品を持ち階段を上り配布場所へ戻り道具等返納した。

湖畔を見降ろせば斜面はドウダンツツジばかり、桜町高校の植樹は今年で8年目に入り1千本を超えたそうです、秋にはぜひ見たい植樹斜面です。集合場所に戻り、閉会式で各代表の挨拶があり活動終了。その後インストラクターと振興財団職員で植樹状況をチェック、主に踏み固め不足による手直しを行った。

職員との打ち合わせを終え、インストラクターの打合せでも問題等の報告もなく14時過ぎに鳥居原遊園をあとにした。

(記 立花 康美 ⑭)

◆ 株式会社富士通ミッションクリティカルシステムズ  
新入社員研修 (枝打ち、間伐)

(ミッションクリティカルシステムズ...略:MCS)

日 5月13日(金)13:20~15:30、晴れ

場 南足柄市塚原ボランティアフィールドはじまりの森

参 社員 106名 (スタッフ7名、新入社員99名)

イ L藪田⑬、森本⑤、伊藤⑦、村井⑨、西出⑫、  
小川⑬、武井⑬、真部⑬

MCS新入社員の皆さんは、足柄上合同庁舎で午前

中の講義を終え、5台のマイクロバスに分乗して塚原ボランティアフィールドに到着。青空のもと、さわやかな新緑を眺めながらお弁当タイムの後、いよいよ作業に出発。

1グループ約24名を2班に分け、4グループ8班編成で作業を行った。当初は枝打ちだけの予定だったが事前の打ち合わせで8班中3班は間伐体験になった。暑い日だったが森の中に入ると少しひんやりしてほっとしたのも束の間、作業を始めるとすぐに汗だくになる。足場の悪い急斜面の移動や見慣れない虫に戸惑いながらも若さと元気で枝打ち作業は順調に進み、見通しの悪かった林内はとてども明るくなった。間伐班は各班3本ほど伐倒し、ロープを使ってきちんとした手順を体験できた。最後に道具の手入れを行い作業は終了。マイクロバスに乗り込み、1日かりの研修を終えた皆さんは、リラックスした笑顔で塚原の森を後にした。

(記 真部 幸枝 ⑬)

#### ◆ 株式会社 和久環組

##### ワクワクの森 森林再生パートナー活動

- 日 5月14日(土)8:30~16:30、晴れ
- 場 やどりき水源林
- 参 鎌田社長他 計19名
- 県 増子様、星様
- イ L上田⑩、村井⑨、小沢⑨



やどりきに新しい森林パートナーが誕生致しました。株式会社 和久環組(ワクワクの森)です。

横浜市神奈川区にあり不動産売買/不動産仲介/リノベーションの設計、デザイン、施工、インテリア、雑貨/コンサルティング等です。

快晴の中、和久環組スタッフの方々が8時30分にやどりきに入られ、本日のスケジュールの準備へと皆さん笑顔で活動を始めた。看板の除幕用の紐の取付け、広場ではテントの設置10時より沖様の司会進行により関係者の数人が除幕用の紐をそれぞれ握り合図により除幕式。集会棟の山側の場所に設置された看板がやどりきの

森にお披露目、そばにはミズキの木が記念樹かと思われるように青空にまさに花を咲かす準備OK。その後準備運動をして3班に分かれ22年、23年度の成長の森へ向かい自然観察に出発、植物の話や森に棲む動物、そしてヤマビルの話も交えながら緑に映える鍋割山、しずかに佇む寄の集落、参加された皆さんは都会では味わえない山の恵みを浴びて満足された様子でした。

広場に集まり株式会社スノーピークの人たちも交え参加者とコミュニケーションを取りながら昼食。

午後は集会棟の脇でコースターの作成、鋸をあまり使用した事も無い人もそれなりに楽しく活動されていた。

ペーパーヤスリを使い世界に一つのマイコースターをお土産として持ち帰られました。

最後に看板の所に集合し記念写真、鎌田社長様の力強いお話が有り、今後の和久環組がやどりきに於いて継続して活動されることを宣言して本日の活動を無事終了致しました。

(記 小沢 章男 ⑨)

#### ◆ 県立21世紀の森

##### 野鳥観察会「春の野鳥観察」

- 日 5月21日(土)9:00~14:00、晴れ
- 場 県立21世紀の森
- 参 大人10名 男性8名 女性2名 子供1名(女の子)
- スタッフ 21世紀の森 平井様、山崎様  
21世紀の森サポーター 山本様
- イ L石原⑧

観察会当日は、穏やかな晴天で絶好の探鳥日和となった。森林館でオリエンテーションの後、野鳥リストと自然発見カードを持って出発。

午前中は森のサポーター山本氏にも同行して頂いた。イカルの朗らかな声に導かれながら天然の森入り口までゆっくり歩いていくと、キビタキやエナガなどの野鳥に出会うことができた。

午後は金太郎コースからどんぐりコースへ続く連絡道を歩いた。鳥の気配は少なかったが、参加者全員でヤブサメやオオルリの声にじっくりと耳を傾けることできた。

小さな女の子が一人、親子で参加してくれていたが、自然発見カードに真剣に取り組んで最後まで楽しそうについて来てくれたことはとても嬉しかった。

開催日時を早めたり、コースを見直したりすることで、もっと多くの野鳥を観察できるのではないかと感じた。  
(今回観察できた野鳥 姿10種・声17種)

(記 石原 和美 ⑧)

#### ◆ 持田製薬株式会社

##### 森林再生パートナー活動(下草刈り)

日 5月21日(土)11:00~13:00、晴れ

場 南足柄市 塚原ボランティアフィールド

参 持田製薬(株)社長 持田様 他 大人29名

イ L村井⑨、小沢⑨、大塚⑪、小貝⑭

林道沿いのミズキが、昨年5月の持田製薬様の森林づくり活動を思い出したかのように、白い花をつける。

我々インストラクターは、ヘルメットと鎌を準備し、下草刈りする現場の状況を確認、そしてお待ちした。

11:00 から持田社長様のご挨拶、「ボランティアに感謝の気持ちを」と述べていただいた。続いて、ケヤキの林とその上部のヒノキの林の下草刈り作業を行った。

クサギの臭いを嗅ぎ、タラノキで来春を想い、紅紫色の半鐘をつけたハンショウヅルに手を止め、ウグイスの声を聴き、沢の山なみのホオノキの白い花に気づきうなずく。そして遠く、酒匂川による足柄平野、プレート境界の国府津・松田断層、その奥には丹沢の山々を見ながらの、ひと時の休憩をとった。

下草刈りの最後は、きれいになった現場でインストラクターもいっしょに集合写真、「来年もがんばるぞ！」。

怪我もなく、13:00、持田製薬様は次に向かわれるためバスにご乗車、お見送りした。その時、心地良い風が。

(記 小貝 眞 ⑭)

イ L福島(正)⑪、(丸太筋工)森本⑤伊藤⑦上田⑩焼尾⑬  
(水生生物・癒やし)宮本④若林⑦草野⑧真貝⑩

恒例の神奈川トヨタ自動車株式会社プリウス森木会、ネットワーク活動は5月の天候に恵まれた。「緑のダム作りと水辺の生き物観察」と題し、森林保全活動は丸太筋工、自然観察は水生生物観察および癒やし体験と、5月のやどりき水源林を楽しむには絶好の活動内容となった。スタッフ様周到的な準備にて、プリウスユーザ様をお迎えし開会。島田広報部長よりプリウス森木会も、33回を重ねた旨ご挨拶、ならびに水源環境保全課武田様より水源林保全の意義を説明された。歴史を積み上げた神奈川トヨタ自動車様と、神奈川県官民一体となった森林保全の意義を噛み締める。4つのグループにわかれ、各作業、観察、体験の場所へと進んだ。

緑のダム作りは、ネットワーク活動においても比較的新しい取り組みとなる丸太筋工。今回は、材料となる間伐材を間伐フィールドか施工地へ運搬するところからの作業。カケヤで杭を打ち込み、番線でシノを使って横木を固定しながら積み上げる。水生生物の観察は5月の丹沢の清流のひんやり感を楽しみ、豊富な生物を守る水と生物のはぐくみを足肌で感じた。癒やしは、小鳥のさえずるなか、緑の隙間から鮮やかな青空を覗き、五感で水源林を感じることができた。午前午後で、グループ毎に相互に入れ替わり、すべての活動内容を体験いただいた。

閉会時にはお楽しみ抽選会にて、20周年を迎えた本社ビルにあるショップの便利なアウトドアグッズが参加者にプレゼントされた。

森林保全において重要な役割を担う作業を行った後の手で、環境にやさしい自動車のハンドルを握りしめる。プリウス森木会ならびに関係者様にとっては、充実した帰路となったことであろう。

(記 焼尾 徹 ⑬)

#### ◆ 神奈川トヨタ自動車株式会社 プリウス森木会

=1日目(丸太筋工と水生生物観察+癒やし体験)=

日 5月21日(土)10:00-15:30、晴れ

場 やどりき水源林

参 プリウス森木会52名(男性25、女性16、子供11)  
(槐の会3名、松田町4名を含む)

トヨタ担当者およびスタッフ 磯崎取締役ほか12名、

看 萩原様

県 武田様、星様

=2日目(丸太筋工と水生生物観察+癒やし体験)=

日 5月22日(日)10:00-15:30、晴れ

場 やどりき水源林

参 プリウス森木会43名(男性15、女性14、子供14)

トヨタ担当者およびスタッフ:島田広報部長他10名、

看 萩原様

県 前原様、野澤様

イ L福島⑪、(丸太筋工)佐藤⑤相馬⑤福島⑨辻村⑨

(水生生物)井出①吉田①

(癒やし体験)草野⑧真貝①

昨日に続き好天の下、プリウス森木会活動は行われた。メニューは昨日と同じ「緑のダム作りと水辺の生き物観察」。活動内容は丸太筋工、水生生物観察および癒やし体験。

8時半よりヨタスタッフ様とインストラクターとでプリウス車ユーザーのお客を迎える会場の準備を始める。9時くらいからユーザー様がマイカーで到着し始める。予定通りに10時より開会。

4つのグループに分かれ、各活動インストラクターの案内の元活動場所へと。

緑のダム作りは、丸太の筋工。丸太を組んで柵を作り土留めとする。カケヤやシノを使う男性の作業だが、女性もお子様も興味津々。自分でカケヤの丸太を杭打ちする子供も。森の中での作業を遊びに楽しんで笑顔だった。

水生生物観察は涼しく感じる清流に入り今のこの季節を堪能。またバケツに収集したものを広場に持ち帰り、バットに空けて観察。じっと見ているといろんな虫がたくさん泳いでいる。生き物がたくさんいることに歓声。自然の豊かさを感じてもらえた。

癒やしでは、森の中で寝転んで高木の高さと遙か上の青空と雲、風の揺れを見ていると悠久の時の流れを感じる。またハンモックで揺られていると自然の暖かさを感じる。昼休みには、シュロバッタの製作やロケットラワン遊びも開催。お子様に楽しんで頂いた。

午後3時お楽しみ抽選会の後閉会式で、無事ケガもなく活動を終了した。

その後、スタッフとインストラクターとで反省会と後片付け。4時くらいにすべて完了。良い季節だった。

(記 吉田 郁夫 ⑪)

#### ◆ 横浜市立荏子田小学校

##### 高取山登山

☐ 5月23日(月) 10時～16時

☒ 愛川ふれあいの村～高取山

☒ 小学4年生74名、教師9名 計83名

☒ L 西出⑫、島岡③、白畑⑦、渡部⑦、木村⑭、小松⑭

晴れた日の、みどりが鮮やかな絶好の季節の、気持ちのいい登山だった。

時間の経過は、10時にインストラクターが集合・打合せ。10時30分に児童到着・開会式。11時に6班(A～F班)で登山開始。A班は12時50分に山頂到着、13時35分に山頂出発、14時45分下山。15時20分～40分に閉会式。15時45分～16時にインストラクター打合せ・解散。

出発から下山まで、ほぼ予定通りに推移した。児童1人が足に軽いこすり傷をした以外は心配したヤマビル(子供たちは見たがっていた)の被害もなく、全員、無事に下山できた。

事前の打合せで気温が高くなることから、熱中症対策としてこまめに水分補給するように心がけた。

閉会式で児童の感想を聞いたが、大多数が「楽しかった！」とのことだった。これを機会に自然に親しみ、自然を大切にする様に話をした。

同日に3校(インストラクター引率は2校)が高取山登山で、ふれあいの村の配慮か出発間隔を空けての登山だったが、狭く滑りやすいところでのすれ違いに多少の時間がかかったものの、無事に終えることができた。

(記 小松 立史 ⑭)



#### ◆ 横浜市立小坪小学校

##### 愛川宿泊体験学習

☐ 5月23日(月)9:00～14:15、晴れ

☒ 愛川ふれあいの村～高取山～

☒ 小学5年生 2クラス 60名

(大人9名 子供51名)

☒ L 足立④、高橋③、小野⑦、小沢⑨、牧石⑭

当日は気温も上昇し、今年初めての夏日の中で登山活動を行いました。

当初9時出発予定でしたが、当日は3校の活動が重なった為、急遽45分遅らせての出発なり、待機中の時間を活用し参加者へ水源林についてのレクチャーを行いました。ヒルは発生しませんでした。コースの移動中にジムグリが現われ、子供たちは興味津々に観察をしていま

した。参加者への安全確保として、山頂下の大きく赤土が露出した場所では参加者が滑らないよう、ロープ張を行い通過しました。心配されていた山頂での混雑は、時間差登山を行ったことで、山頂に着くと他校と入れ替えとなり、混乱も無く班毎に集まって昼食をとりました。下山では、落ち着いて歩くように声をかけながら移動し、予定の時間に全員怪我なく下山。下山後、子供たちより今日の感想と、ありがとうございますとお礼の言葉をいただき終了しました。

(記 牧石 稔 ⑭)

◆ JX エネルギー株式会社

「ENEOS 未来の森」森林保全活動

日 5月28日(木)10:00~12:00、曇り

場 やどりき水源林

参 自然観察班 83名

県 増子様 他1名

スタッフ JX エネルギー(株) 伏本様他

イ L村井⑨、友谷①、宮本④、松本⑧、江頭⑬、大原⑬、源島⑬、古舘⑬、真部⑬、小松⑭

バス4台と多数の自家用車で210余名のJX社員とそのご家族が参加し、午前10時に水源林広場に集まった。開会の挨拶の後、自然観察班は各インストラクターのもとに10班に分かれて活動を開始した。最初の5班は管理棟脇の階段から、残りの5班は休憩棟前の緩やかな道からBコースに入って行った。この時期は様々のウツギが花を咲かす時期で、マルバウツギ、バイカウツギ、ニシキウツギ、ウツギ(卵の花)が目を楽しませてくれた。

スギとヒノキの区別や鹿が食べる葉と食べない葉の説明や、ヤブムラサキの綿毛に包まれたつぼみやトチバニンジンの葉と花などを説明し、森林浴を楽しみながら進んで行った。

各班共通の話題は何といても「ヤマビル」であった。昨日の雨の後だったので、経路の至る所に「ヤマビル」が首をもたげて参加者を歓迎してくれた。幸いにして「ヤマビル」の被害も怪我もなく、楽しいひと時を、参加者、インストラクター共に楽しむことが出来た。

(記 古舘 信生 ⑬)

◆ 日揮株式会社

枝打ち、間伐

日 5月28日(土)、晴

場 南足柄市 塚原水源林

参 9名

イ L西出⑫、大橋⑪

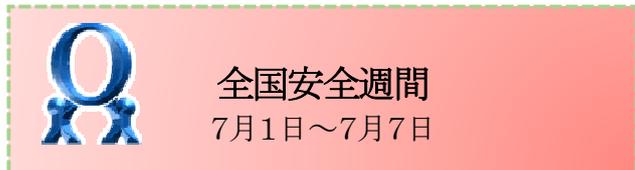
参加予定15名のところ9名と少ない人数ではあったが、2班に分かれ、午前2時間の間伐と午後1時間の枝打ちを予定通り行った。

初心者にも間伐の必要性や手順、受け口の重要性をしっかりと理解して頂けたことで、参加者同士で伐倒方向を決め、目的の方向に倒すことができた時の満足感がこちらにも十分伝わってきた。

ツル絡みの枝打ちに悪戦苦闘しながらも頑張ったおかげで、十分な成果を上げる事ができた。

男性1名が15期挑戦に意欲を見せてくれたのが楽しみだ。

(記 大橋 聡 ⑪)



投稿概略フォーマットと略語の説明  
 ページレイアウトは気にされずベタ書きで結構です。  
 ◆ 活動団体・活動名 等  
 日 日付(できれば時間と天気も)  
 場 場所  
 参 参加者&人数  
 県 神奈川県 環境農政局 水・緑部  
 水源環境保全課 水源の森林推進グループ  
 財 ((公財)かながわトラストみどり財団)、 看 看護師  
 スタッフ 例 小田原市森林組合XX様  
 例 川崎市公園緑地協会・XX様  
 イ インストラクター (○数字:期) 研:研修枠  
 (以下本文を概ね400字を目安として執筆ください)  
 リーダーは責任を持って執筆者の選択をお願いします。  
 \*\*活動終了後の速やかな投稿をお願いします\*\*

森のめぐみの掲載は、  
 今月号はありません。  
 次掲載は8月号です。



**やどりき水源林  
ミニガイド**

**6月のトピックス**

マタタビの葉の白が遠くから観察できました。



(6/18 松本撮影)

**7月の水源林**

梅雨が明ければ楽しい夏休み。やどりきの水遊びの楽しい時期です。都会から近いのに上級の清流があるやどりきにお出かけください。滝郷の滝も待っています。

**「森の案内人」情報**

- 実施時間：毎週土曜・日曜  
AM10時・PM1時、1～2時間程度
- 集合：水源林入口ゲート前
- 内容：森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
- \*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。
- 問合せ：(公財)かながわトラスト  
みどり財団 TEL：045-412-2255  
FAX：045-412-2300
- ホームページ：<http://www.ktm.or.jp>
- E-mail：[midori@ktm.or.jp](mailto:midori@ktm.or.jp)
- やどりき水源林までの道順  
小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35～40 分。  
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

**イベント情報 & ご案内**

**第50回夕日の滝開き**(南足柄市)

開催日：7月3日(日)11:00～  
場所：夕日の滝 周辺  
イベント内容：  
山伏による安全祈願、  
足柄ささら踊り、  
足柄ばやし他



交通アクセス：  
大雄山駅より  
箱根登山バス  
地藏堂行き 25 分  
「地藏堂」下車、  
徒歩 15 分

問合せ：南足柄市観光協会  
<http://www.mcity-kankokyokai.com/>

◇ **森のなかま原稿募集** ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>  
松本 保

Mail：[matsutamori@jcom.zaq.ne.jp](mailto:matsutamori@jcom.zaq.ne.jp)

Tel：090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail：[s\\_akasaki-k\\_instructor@live.jp](mailto:s_akasaki-k_instructor@live.jp)

Tel：090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax：045-301-9401

電話連絡先：090-7962-3168

Mail：[matsutamori@jcom.zaq.ne.jp](mailto:matsutamori@jcom.zaq.ne.jp)

【別冊】水口 俊則

〒250-0871 小田原市下堀 123

Tel/Fax：0465-42-7240

Mail：[minagold109@kjd.biglobe.ne.jp](mailto:minagold109@kjd.biglobe.ne.jp)

【別冊は CC を】福島 正治(事務局長)

〒214-0006

川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax：044-944-9423

Mail：[fukky52000@yahoo.co.jp](mailto:fukky52000@yahoo.co.jp)

原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。  
(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>  
(HP 担当：井出恒夫)

**編集後記**

★梅雨入りして、外に出られず体がなまらないように、毎日ストレッチ。晴れた日には一駅歩いて、ダイエットも兼ねてがんばっています。

(大塚)

★まだ6月だというのに滅茶苦茶、多忙です。毎年どんどん忙しくなっているのは気のせいでしょうか！?

(赤崎)

★先日、奥多摩の浅間嶺へ登り、クモクリソウ、イチヤクソウ、ギンバイソウ、ギンリョウソウなどが迎えてくれて、とても楽しい山旅になりました。

特にコアジサイの白い可憐な姿に心惹かれました。

(小川)

★今年はいくまでになく猛暑日になるとか。緑のダムに水不足頑張っで欲しいです。

(水口)

★ **春は花 夏ほととぎす  
秋は月 冬雪さえて  
冷(すず)しかりけり**

**道元歌 康成書**

雪国を書き始めたころの若き日(30代後半)の川端康成が鬼無里村を訪れたときに書いた書から

少しは涼くなったでしょうか?

(松本)

**年間通読のお申し込み**

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。

振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

- 編集人：松本 保  
事務局：福島 正治  
広報部：水口俊則 赤崎さほり  
小川和恵 藺田栄哉  
大塚晴子 小池 哉  
支援 伊藤恭造 大原正志  
江頭淑子

**「やどりき水源林のつどい」**

参加者募集予定 (7/1～7/29) ! 夏休みの思い出を水源林で!!

開催日：平成28年8月11(水・祝い(山の日))

場所：やどりき水源林(足柄上郡松田町寄)

内容：水源林トレッキング、水生生物観察、クラフト、他多数催し

※詳細および申し込み方法ほか詳細は

7月1日下記のホームページに掲載予定

(公財)かながわトラストみどり財団

横浜市西区岡野 2-12-20 Tel045-412-2255

<http://ktm.or.jp/>

<http://ktm.or.jp/contents/event/index.html>

